


多様な主体が参画し、新たな価値を創造する「福山版サーキュラーエコノミー」の実現

広島県福山市（2023年度選定）

（様式2 - 1）

1. 地域の特徴と課題及び目標	福山市は、鉄鋼業のほかデニムに代表される繊維産業など多様な製造業が集積しており、「ものづくりのまち」として発展してきた。また、「ばらのまちづくり」に代表される市民と行政の協働がまちづくりの根幹を成しており、福山の文化として育んできた「思いやり・優しさ・助け合いの心（ローズマインド）」は、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」に通ずるものである。デジタルの活用が進み、時間と場所に捉われない働き方が広がる中で、首都圏等から人や企業を呼び込む環境を整えるとともに、人口減少・少子高齢化に的確に対応した施策を進めることで、誰もが希望するライフスタイルを実現できる都市にしていく必要がある。今後、ローズマインドをさらに育む中で、多様な主体が参画し、新たな価値を創造する「持続可能なまち」の実現をめざす。	2. 関連するゴール 
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	高い生産技術を有する企業やビジネスアイデアを持つ人材、地域・まちづくり団体、関係人口、行政などの市内外の多様なリソースと、社会面・経済面・環境面の課題をそれぞれ可視化し、マッチングすることにより、諸課題の解決と、それを通じた新たな価値の創造、資源の高度循環化につなげる「福山版サーキュラーエコノミー」を実現する。	
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 ①福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたデジタルプラットフォームの運営 ・Webサイトとして2023年度に構築したSDGsデジタルプラットフォーム上に「課題」と「解決手法」を登録することで、可視化・マッチングを促し、課題解決に取り組んだ。 ②新たなプロジェクト創出に向けた取組 ・SDGs推進宣言制度を創設し、宣言した企業・団体のSDGsの取組や具体的な数値目標などを、デジタルプラットフォームに掲載した。 ・福山市SDGs推進アドバイザーをSDGs推進宣言企業・団体に派遣し、SDGsの推進に関する専門的な指導や助言を実施した。	6. 取組成果 ①福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたデジタルプラットフォームの運営 ・行政が持つ「課題」に対して、企業の「解決手法」をマッチングしたプロジェクトが12件創出された。 例(1)行政の「通学路の安全対策」という課題に対して、企業の「運送会社が持つ地図データ」という解決手法をマッチング。 例(2)行政の「がん検診等の受診率向上」という課題に対して、企業の「保険会社の顧客に対して受診を推奨する」という解決手法をマッチング。 ②新たなプロジェクト創出に向けた取組 ・SDGs推進宣言制度を創設し、228の企業・団体がSDGs推進宣言を行った。宣言内容をプラットフォームに掲載することで、企業・団体の取組をPRするとともに、意欲を高めることにつながった。	
5. 取組推進の工夫 全部局の局長で構成する「SDGs推進会議」及び産学金官民で構成する「福山みらいづくり懇話会」を開催し、SDGs推進施策について議論した。また、包括連携協定企業などと連携し、職員向けの研修会を開催した。	7. 今後の展開策 ・まちづくりサポートセンター等との連携を強化し、企業・団体同士のマッチングによる課題解決を促進する。 ・引き続き、希望する企業・団体に対してアドバイザーを派遣し、各企業・団体が抱えるSDGsの取組に関する課題の解決につなげる。 ・SDGs推進宣言団体の情報をプラットフォーム上でPRすることで、SDGsに積極的に取り組む企業・団体を拡大する。	
8. 他地域への展開状況 (普及効果)	市内外に向けて、福山市の広報やホームページ、公式SNSなどを活用し、取組を随時発信している。また、SDGsデジタルプラットフォームを活用して、SDGsに取り組む市内企業・団体の情報を発信している。	